

## 台湾からのメッセージ

敬愛する岩国の米軍基地に反対する同志・友人の皆さん

日米軍事同盟のアジア太平洋支配のための米軍基地および駐留軍の再編計画は、この地域の平和を脅かすのみならず、日本の人々の生活権益にも衝撃を与えています。このような米軍基地の拡張・強化の衝撃に直面して、日本・岩国の現地住民が 2006 年の住民投票で反対の意思を示したにもかかわらず、日本政府の独断専行により、2011 年には基地拡張が完成しました。神奈川県厚木基地からの艦載機の全面移駐、厚木基地から移駐する米兵のための愛宕山米軍住宅建設工事の 2014 年 5 月からの開始、オスプレイの全国訓練基地としての岩国基地の拠点化、沖縄・普天間基地からの KC-130 輸送機の移駐、2017 年までの最新鋭 F-35 ステルス戦闘機の移駐—これらは岩国基地を東北アジア最大の米軍基地にするものであり、岩国現地の住民の命と生活に巨大な被害を与えるものに他なりません！

それにもかかわらず、日本の人々の反戦・反帝国主義の闘争は一層激しく燃え上がっています。辺野古や岩国・愛宕山などの地域において、私たちは持続的で日々拡大する反米軍基地闘争を目撃してきました。私たちはまた、3・11 福島核災害の後、各地で風雲のように巻き起こる反核闘争を目撃してきました。さらに、今回の安倍政権の戦争法案に対する反対闘争に大規模な民衆が参加していることを私たちは目撃しており、8 月 30 日には 10 万人で国会を包囲し、全国で 100 万人の人々が一齐に声を上げ、戦争法案反対の行動に集まろうとしていることを知っています！米軍基地反対運動は、戦争法案反対闘争の不可欠かつ重要な一部分であることを私たちは深く確信しています。米帝国主義の長年来の軍事基地再編は、安倍政権の戦争法案を利用することを必要としており、それによって日本軍国主義の復活に法的根拠を与え、共に戦争行動を展開できるようにし、平和憲法を破棄させようとするものに他ならないのです！1960 年代・70 年代の「安保闘争」の栄光の伝統をもつ日本人民は、いま新しい情勢の下で、不断に壮大に拡大する戦いを展開しています！私たちは平和を守るためのたたかいを心から支持します！私たちもまた、一切の力量を挙げて、全アジアの平和を愛する人々と共に、米日帝国主義の軍事拡張と侵略に反対して立ち上がります！

第二次世界大戦中、日本の侵略戦争・植民地支配によって、アジア各国では 3500 万人を超える人々が亡くなり、日本人も 310 万人が犠牲となりました。この悲惨な数字は、日本帝国主義がアジアと日本の人民に対していかに深刻な災難をもたらしたのかを示して余りありますが、しかし、安倍政権は戦争中の暴虐行為を謝罪することを拒絶しています。アジアにおける反帝平和運動が不断に拡大している現在、私たちは米日帝国主義が米軍基地および駐留軍を利用して、南北朝鮮や台湾海峡兩岸を挑発し、東海や南海などでの緊張と衝突を煽ることに断固として反対します。世界反ファシスト戦争勝利 70 年の今年、平和を愛する私たちは、日本の侵略と植民地支配の悲痛な教訓を決して忘れることができず、日本軍国主義が灰燼のなかから復活しようとしていることに警戒せねばならず、さらに米帝国主義の全地球規模での軍事支配に抵抗しなければなりません！私たちは恒久的で真の平和を求める同志および進歩的民衆と共に立ち上がり、米日帝国主義に反対してたたかいます！

日本人民の反戦正義の闘争を支持します！安倍反動政権を打倒しよう！

安倍政権の戦争法案反対！

安倍政権の日本国平和憲法第九条破壊に厳正に抗議する！

米日安保条約反対！米日軍事同盟打倒！

岩国基地強化反対！愛宕山米軍住宅建設反対！米軍の岩国進駐反対！

米軍基地全面撤去！米日帝国主義を打ち倒そう！